

グループ紹介

サークルレインボー



茨木市立中央公民館がまだ東中条町にあった平成5年(1993年)、社交ダンスの自主グループとして、サークルレインボーが発足しました。その後、中央公民館の移転に伴って、生涯学習センターきらめきで活動するようになり、現在に至っています。会員は28人。年齢は50歳以上で、そのほとんどが経験者です。

会員は、ダンスの基本的なことはすでにダンス教室などで習得しているので、ここでは技術的なことを話題にすることはなく、楽しく踊ることや会員同士の親睦を大切にしています。会員のダンスレベルが同じ程度で踊りやすいということもあり、週1回の練習には、8割以上の会員が出席します。

私たちは、毎年、春には1泊旅行に出かけ、ダンスができる宿泊施設で思い切り踊ります。秋には生涯学習センターきらめきホールで、ほかの3つのダンスサークルと合同発表会を行います。広々としたホールは気持ちよくなるのびのびと踊ることができます。また、冬にはささやかなクリスマス会を開き、楽しんでいます。

ダンスは自分のペースで踊れるので、無理をすることがなく、健康にとってもよいと思います。また、おしゃれをすることができ、若さも保てます。

皆さんも私たちといっしょに踊りませんか。毎週金曜日、生涯学習センターきらめきで練習しています。男女同数のため、カップルでの入会をお待ちしています。



グループ「福」



楽しく踊って8年になります。現在、会員は11人で、もともと踊りが趣味の仲間が集まっています。

会員の中には、85歳という高齢にもかかわらず、遠くからバスに乗って練習に来ている人、ぜんそくやリウマチなどの病気に負けずにリハビリも兼ねて練習に来る人もいます。

私たちは、自分たちの踊りを少しでも多くの人に見ていただきたいという思いと、病気などで入院し、治療後、家庭に帰ることが叶わず、介護施設に入所されている方や、家族の仕事の都合でデイサービスセンターに通所される方に、少しでも楽しんでいただきたいという思いから、さまざまな施設を訪問して踊りを披露しています。

施設に伺うと、「待ってましたよ!」と言って手を出され握手をしてくださる方々や、帰り際に見えなくなるまで手を振ってくださる方々もいらっしゃいます。

今練習しているのは、なつかしい昭和の曲に振り付けをしたものです。体はなかなか思うように動きませんが、素晴らしいご指導をくださる先生に、何とかお応えしようと、前に向かって頑張っています。

月3回、水曜日の午後1時から5時まで、中条公民館の和室で練習しています。

どなたでもお気軽に、見学においでください。

連絡先 河井 千代 622-4431



市民インタビュー 第41回

この人に会いたくて

市内81寺院を紹介した本を出版
かとう ひではる
加藤 秀治さん

茨木市観光協会の調査委員として、市内の観光につながる資料探しをしていた加藤さんは、茨木市にはたくさんの神社仏閣があることを知りました。

そこでまず、市内の寺院を巡ることを思い立ち、訪ねること約2年。その訪問の記録が、昨年、本として出版されました。



茨木市内の寺院を紹介した『癒し散策 茨木の寺院』を出版されたきっかけは何だったのですか。

平成17年(2005年)4月に茨木市観光協会が設立され、私は観光協会調査委員会の委員を拝命することになりました。拝命後、調査に必要な資料を探しに、たびたび図書館に出向き資料を集めるうちに、茨木市にはたくさんの神社やお寺があることを知りました。観光につながる調査には、まず茨木市の歴史を知ること、そして、それには神社仏閣を訪ねてみるのがよいのではないかと思いつき、さっそく寺院巡りから始めました。最初は自分のために記録しておくつもりが、お寺の訪問が40回を超えた頃から、一冊の本にして皆さんに紹介するのも調査委員の役割ではないかと思うようになり、今回の出版に至りました。

どのくらいの期間をかけて取材をされたのですか。また、茨木市の寺院には何か特色がありますか。

住職さんの都合などで、訪問できるお寺は1週間に1、2か所。81か所を巡るのに2年近くかかりました(茨木市には約100の寺院があります)。その後、編集などを経て、およそ3年後、ようやく本を出版することができました。

私が訪れたお寺の宗派は、浄土真宗が53か所、浄土宗13か所、真言宗6か所、日蓮宗2か所、曹洞宗2か所、黄檗宗1か所、臨済宗1か所、融通念仏宗1か所、顕本法華宗1か所などでした。

こうしてみると、浄土系のお寺が多いことがわかります。その中でも浄土真宗がもっとも多いのは、室町時代に生きた蓮如上人が摂津国に来られたことに関係するのではないかと私は思っています。

取材をされた寺院で蓮如上人に関する事柄や遺物が何か残っているのでしょうか。

取材で聞いたところ、蓮如上人の教えを受けて浄土真宗に転宗・転派したというお寺が数か所ありました。これらのお寺には、蓮如上人に関わる遺品などが残っているのですが、実際に見ることはできませんでした。ただ1か寺

で、蓮如上人の直筆と伝えられている「南無阿弥陀仏」と紙に記された書を見せていただくことができました。曇目が浮き出たその字に迫力を感じました。

今回の取材で印象に残っていることを教えてください。

茨木市には、国や大阪府、茨木市の文化財指定を受けている仏像や遺物などがかなりあることを知りました。しかし、今回訪れたお寺のご本尊や諸仏などは、どれも皆素晴らしい文化財だと思います。そして、お寺にもそれぞれの歴史があり、茨木市の歴史にもつながっているのだと感じました。

また、取材をした多くのお寺では、今も檀家の方たちが集い、住職さんのお話を聴いておられます。最近では、若者の姿も見られるそうです。物の時代から心の時代へと変わりつつあることを実感しました。

加藤さんが目指しておられることは何でしょう。

今回、取材をして感じたことは、茨木市にはどこの地域にも神社仏閣があるということです。まさに宗教の街、歴史の街です。また、緑にも交通の便にも恵まれた素晴らしい街だと思います。このことを多くの人々に知ってもらいPRしていきたいですね。そして、茨木市がますます発展して、「北摂の小京都」と呼ばれるような、人々に親しまれる街になることを願って活動していきたいと思っています。



加藤さんが出版した本、『癒し散策 茨木の寺院』